

第5期
金ヶ崎町子ども読書活動推進計画



令和6年(2024年)3月
金ヶ崎町教育委員会

目 次

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と趣旨	2
2 計画の性格	3
3 計画の目的	3
4 計画の期間	3

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

■第4期計画の基本方針	4
■乳幼児期：本との出会い、楽しいお話の世界を楽しむ	
【これまでの取組】【成果指標】	5
【取組の成果】【課題】	6
【読書状況調査結果(乳幼児)】	7
■小学校期：読書習慣の形成や定着、言語活動の充実	
【これまでの取組】【成果指標】	8
【取組の成果】【課題】	9
■中学校期：読書活動の充実、読書から思考を深め、自分の考えを表現する 言語活動の充実	
【これまでの取組】【成果指標】	10
【取組の成果】【課題】	11
【読書状況調査結果(小学校期・中学校期)】	12
■図書館の取組(乳幼児期～高校期)》	
【これまでの取組】【成果指標】	13
【取組の成果】【課題】	14

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

1 基本方針	15
2 子どもの読書活動推進体制のイメージ	16
3 各主体の役割と期待される取組	17

■付属資料	24
-------	----

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と趣旨

国においては、子どもの読書活動の取組を推進するため、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、この中で「市町村は、国及び県の子ども読書活動推進計画を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない。」としています。

この法律に基づき、金ヶ崎町では、平成16年に「第1期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しむ機会の充実や読書環境の整備に努めてきました。

現在、子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化、高度情報化はもとより、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、GIGAスクール構想による学校のICT環境の整備等により様々な面において、日々変化し続けています。このような中、携帯電話やインターネット、SNS(会員制交流サイト)等、情報過多ともいえる各種メディアの発達や生活環境の変化等を背景に、子どもの読書離れが指摘されています。

子どもは読書を通して多くの言葉と知識を学び、深く考える力を身に付けていきます。読書は、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものとされています。

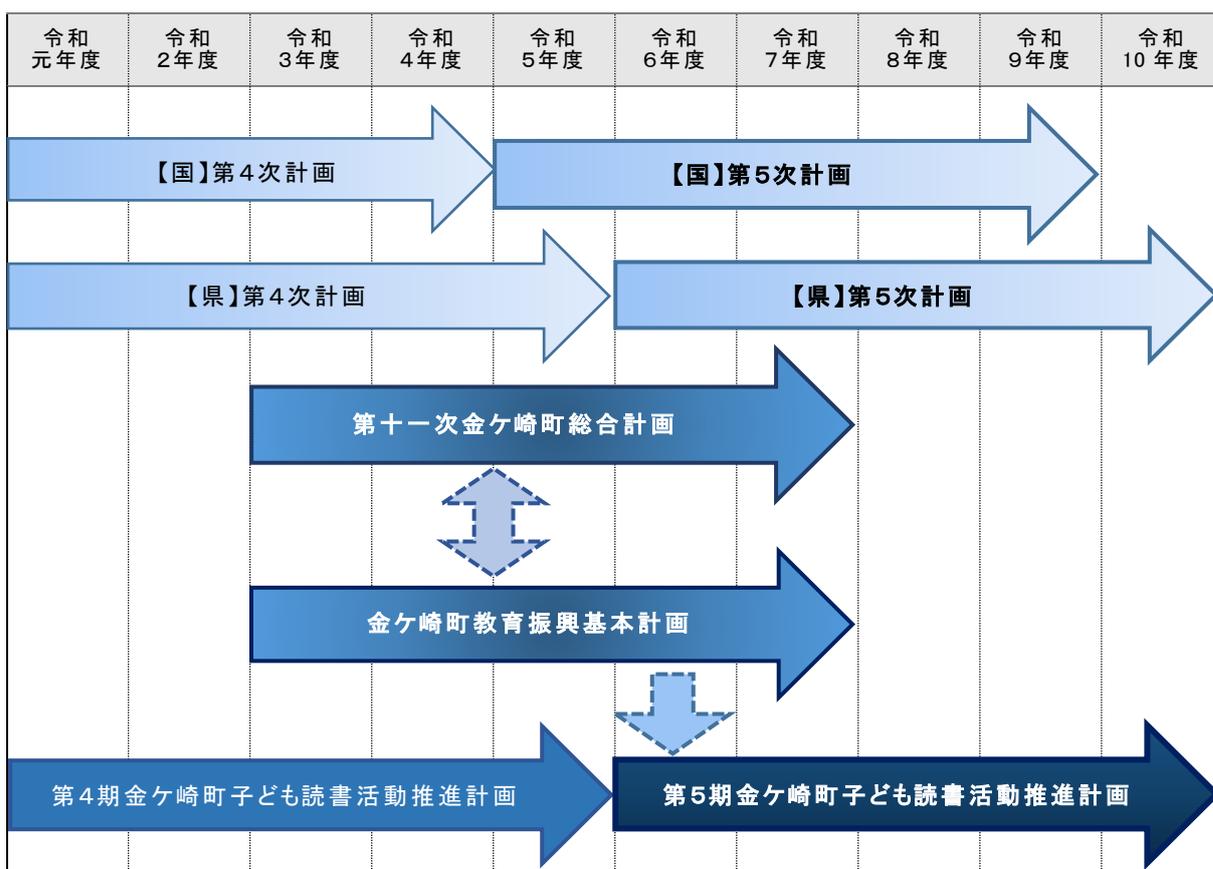
そこで、「第4期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画」の成果と課題を踏まえ、さらなる金ヶ崎町の子どもたち(乳幼児期から高校期まで)の読書活動の推進に向けて、町の方針と具体的方策等を定めるものです。

第1章 計画の概要

2 計画の性格

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき国の定める基本理念に沿って策定するものです。

「金ケ崎町総合計画」との整合性を確保しつつ、「金ケ崎町教育振興基本計画」を上位計画として、具体的な方策を示す実施計画です。



3 計画の目的

国が定める「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び県が定める「岩手県子どもの読書活動推進計画」を基本としながら、本町が目指す子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に展開し、金ケ崎町の子どもへの健やかな成長に資することを目的とします。

4 計画の期間

令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《第4期計画の基本方針》

(1) 発達段階を重視した推進

子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、積極的に読書をしようとする意欲や態度を養い、読書習慣を身につけることができるようなさまざまな取り組みを実施します。

(2) 家庭、学校、地域等の役割の確認と相互の連携

家庭、学校、地域及び行政がそれぞれの役割を果たし、民間団体とも連携し、社会全体で積極的に読書環境を整備し、余暇の時間に読書へと気持ちが進むように、読書の関心を高める活動を推進していきます。

(3) 子どもの読書環境の整備充実

子どもの豊かな読書環境を支えるため、子どもの興味や関心を意図して施設整備や図書館資料等の整備充実を図る取組を推進します。蔵書内容を改善し、充足率を向上させていきます。



第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《乳幼児期：本との出会い、楽しいお話の世界を楽しむ》

【これまでの取組】

主 体	取 組
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本の読み聞かせ、子どもと一緒にの本読み ○親子での図書館利用 ○子どもおはなし会（図書館）への参加
教育保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館地域文庫の設置 ○絵本の読み聞かせ ○絵本の貸出 ○親子リレー読書 ○絵本だよりの発行 ○親子読書や長期休業中の読書等、家読（うちどく）を勧める ○移動図書館車「まなびい号」の利用 ○図書館見学の実施
地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域文庫の設置 ○読み聞かせボランティア活動への参加
行政	<ul style="list-style-type: none"> ○教育保育施設への地域文庫設置 《町立図書館》 ○出生届時の絵本のプレゼント 《住民課》 ○乳幼児健診会場での絵本の読み聞かせ 《保健福祉センター、町立図書館》 ○子どもおはなし会の開催 《町立図書館》

【成果指標】

○乳幼児の読書量

成果指標	現状 (平成29年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)
乳児の1カ月の読書量のうち 「1日1冊、週2～3冊」の割合	69.1%	72.5%	<u>66.3%</u>
幼児の1カ月の読書量のうち 「1日1冊、週2～3冊」の割合	55.1%	57.9%	<u>52.7%</u>

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《乳幼児期：本との出会い、楽しいお話の世界を楽しむ》

【取組の成果】

「1日1冊以上、あるいは週2～3冊程度」に本を読んでいる（読み聞かせをしている）人数の割合は、調査をした結果、乳児期（0～2歳児）は、全体の66.3%、幼児期（3～5歳児）は、全体の52.7%でした。これは、第4期計画策定時の平成29年度と比較すると、乳児期は2.8%減少、幼児期は2.4%減少している状況です。

乳幼児とも、読書量が最も多い割合は、「週2～3冊程度」で、これは平成29年度調査時においても同じ結果となっていますが、乳児期で「月1回程度」の割合が平成29年度調査時は9.4%であるのに対し、今回調査時では、14.1%となっています。このような調査結果から、乳幼児期において、家庭での本に触れる機会が減ってきており、子育て家庭の生活スタイルの多様化を実感するものです。

【課題】

子育て家庭の生活スタイルの多様化の中にあって、家庭での読書の習慣付けの重要性について普及していくとともに、家庭での読書活動への支援の充実を図っていく必要があります。



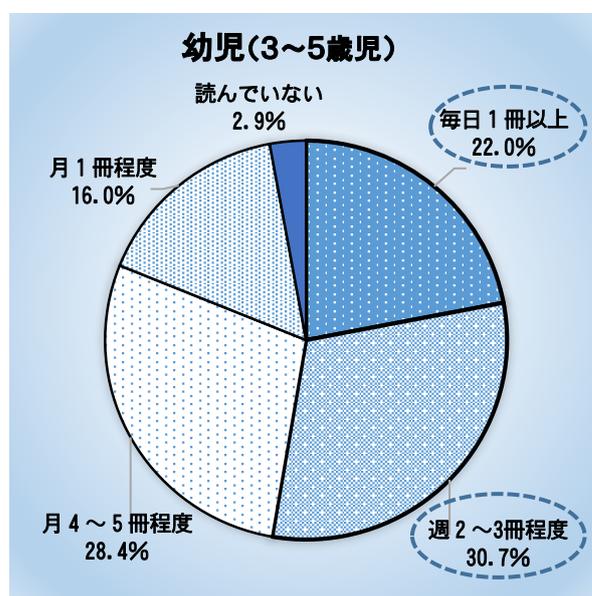
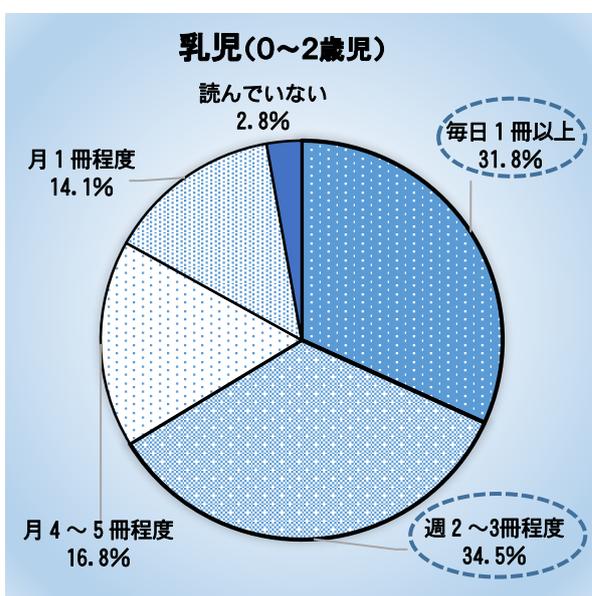
第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《乳幼児期：本との出会い、楽しいお話の世界を楽しむ》

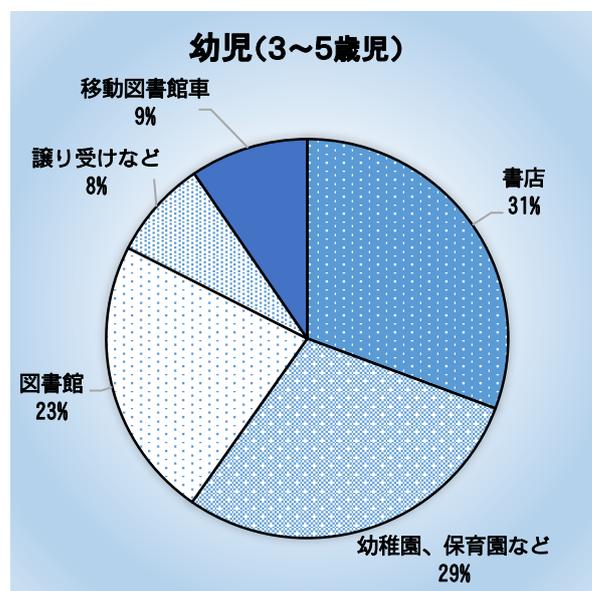
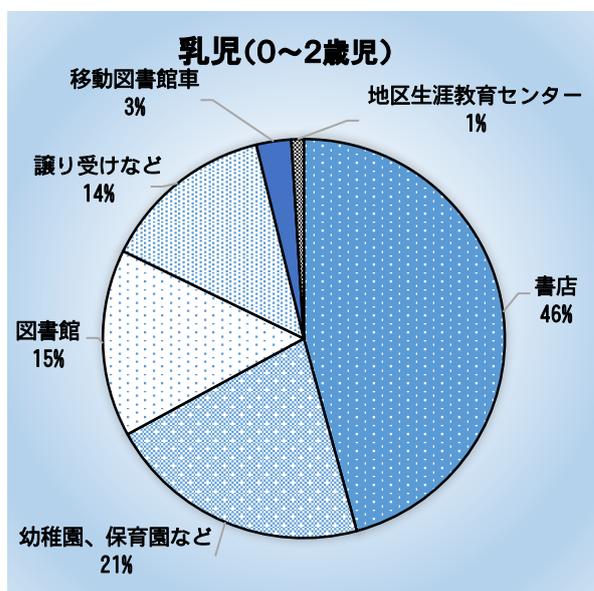
【読書状況調査結果(乳幼児)】

- 対象者：町内の教育保育施設に通園している子どもの保護者 537人
- 回答者：438人（平成29年度 463人）
- 回答率：81.6%（平成29年度 86.1%）

■読書量



■本の入手先



第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《小学校期：読書習慣の形成や定着、言語活動の充実》

【これまでの取組】

主 体	取 組
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○親子読書と読後の交流 ○保護者のほか、祖父母や兄弟による読み聞かせ ○親子で図書館を利用
学校	<ul style="list-style-type: none"> ○全校読書（朝読書等）の実施 ○読書月間の取組 ○読書まつり、読書標語等の実施 ○多読賞の取組 ○読書ビンゴカードの活用 ○親子読書感想文の取組 ○長期休業中の読書等、家読の勧め ○読書感想文の取組 ○図書委員会指導の工夫（読書クイズ等） ○各関係機関や読書ボランティアとの連携 ○良書の情報提供（「いわ100きっず」等） ○図書館見学 ○学校図書室や町立図書館の利用指導 ○児童生徒、保護者への情報発信
地域	<ul style="list-style-type: none"> ○地域文庫の設置 ○読み聞かせボランティアによる読み聞かせ活動
行政	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の標準冊数の充足 《教育委員会事務局》 ○「いわ100きっずコーナー」の設置 《町立図書館》 ○学校図書の受付登録、書架整理 《町立図書館》 ○図書修理教室の開催 《町立図書館》 ○学校図書の蔵書点検 《町立図書館》

【成果指標】

○小学校期の読書量

成果指標	現状 (平成29年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
1カ月の平均読書冊数 (小学5年生)	18.5冊	19冊	<u>20.1冊</u>

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《小学校期：読書習慣の形成や定着、言語活動の充実》

【取組の成果】

1 カ月の間に読んだ本の冊数について、調査した結果、小学校期（小学5年生）は、20.1冊でした。これは、第4期計画策定時の平成29年度と比較すると、1.6冊増加している状況です。また、岩手県全体では、17.2冊となっており、当町はそれを上回っている状況です。さらに、過去3カ年の動向を見ると、岩手県全体では減少傾向であるのに対し、当町は増加傾向にあることから、家庭、学校、地域、行政の各主体による、子どもの読書活動推進への取組が着実に成果として表れているものと認識しています。

【課題】

調査の結果等から、当町の小学校期の読書状況は概ね良好ですが、中学校期から高校期にかけて、全国的な傾向として活字離れ・読書離れが指摘されています。スマートフォンの普及や、SNS（会員制交流サイト）等のコミュニケーションツールの多様化等による急速な情報環境の変化は、子どもの読書環境に大きな影響を与えている可能性があると言われており、このような子どもをとりまく環境の中にあって、本に触れる環境づくりを各主体と連携を図りながら、取り組んでいく必要があります。



第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《中学校期：読書活動の充実、読書から思考を深め、自分の考えを表現する言語活動の充実》

【これまでの取組】

主 体	取 組
家庭	○読んだ本や作家、筆者、関連図書や資料についての話題提供や読後の交流
学校	○全校読書（朝読書等）の実施 ○図書委員会指導の工夫（昼時間に本の紹介等） ○良書の情報提供（「いわ100」等） ○読書感想文や読書感想画展の取組 ○生徒、保護者への情報発信
地域	○地域文庫の設置
行政	○学校図書館の標準冊数の充足 《教育委員会事務局》 ○「いわ100コーナー」の設置 《町立図書館》 ○学校図書の受付登録、書架整理 《町立図書館》 ○学校図書の蔵書点検 《町立図書館》

【成果指標】

○中学校期の読書量

成果指標	現状 (平成29年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
1カ月の平均読書冊数 (中学2年生)	4.8冊	5冊	<u>5.0冊</u>

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《中学校期：読書活動の充実、読書から思考を深め、自分の考えを表現する言語活動の充実》

【取組の成果】

1カ月の間に読んだ本の冊数について、調査した結果、中学校期（中学2年生）は、5.0冊でした。これは、第4期計画策定時の平成29年度と比較すると、0.2冊増加している状況です。また、岩手県全体では、5.0冊となっており、当町は県全体と同数となっています。さらに、過去3カ年の動向を見ると、岩手県全体は、ほぼ横ばいで推移しており、当町は増加で推移しています。県全体を下回っていた状況から県全体と同程度の冊数にまで増加している状況から、家庭、学校、地域、行政の各主体による、子どもの読書活動推進への取組が着実に成果として表れているものと認識しています。

【課題】

調査の結果等から、当町の中学校期の読書状況は増加傾向にありますが、継続して効果的な取組を進めていく必要があります。

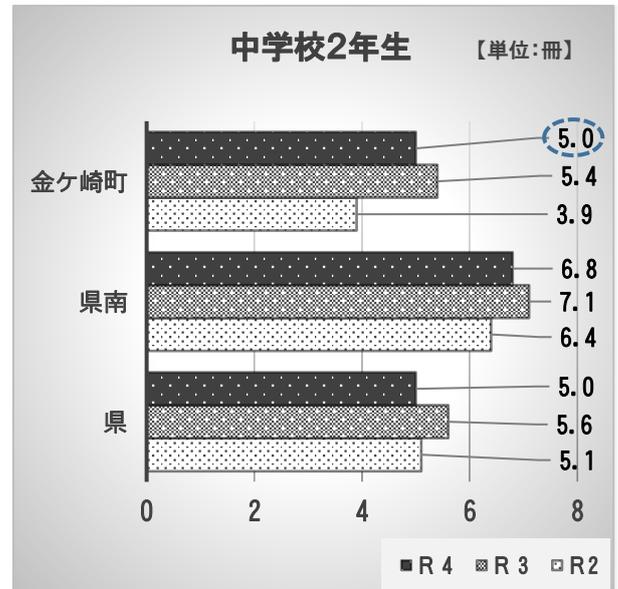
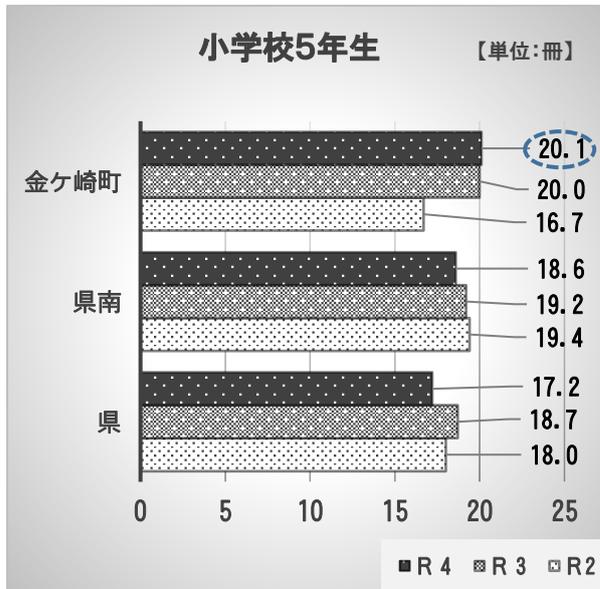
また、全国的に高校生の不読率が小・中学生に比べて高い状況にあることから、読書活動の重要性について、中学校期からの移行期も継続した幅広い周知啓発に取り組む必要があります。



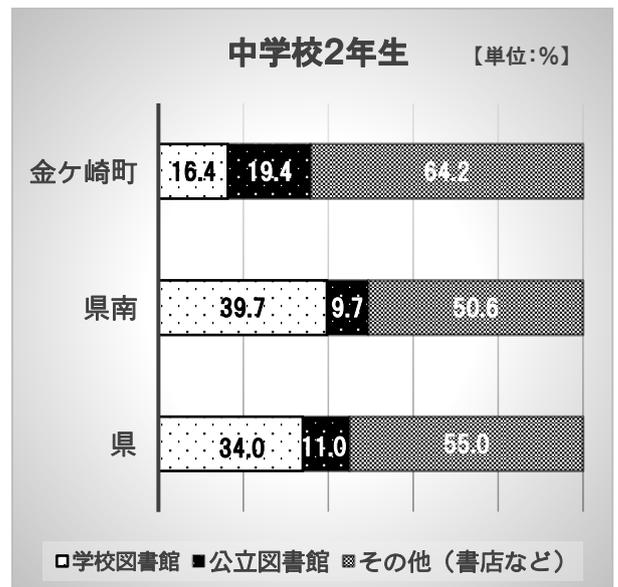
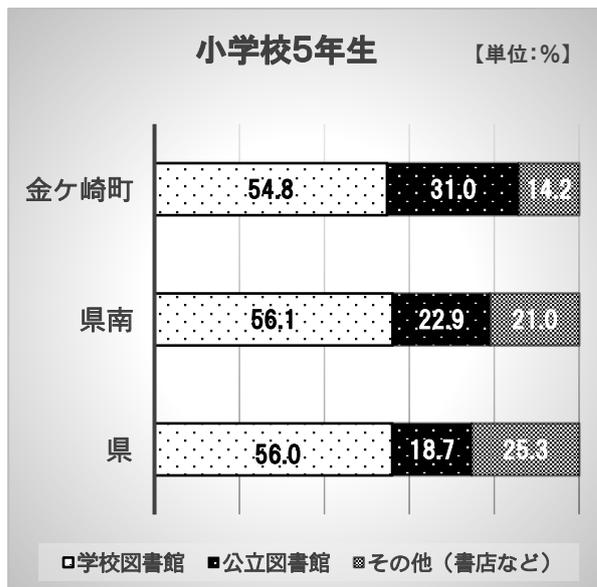
第2章 第4期計画における取組の成果と課題

【読書状況調査結果（小学校期・中学校期）】

■ 1カ月の平均読書冊数（1人あたり）



■ 読んだ本の入手先



第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《図書館の取組（乳幼児期～高校期）》

【これまでの取組】

主 体	取 組
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○図書資料の整備・充実 ○利用者に対する情報発信 ○利用したくなるような図書館づくり ○見学・職場体験の受入れ ○地域（地区生涯教育センター図書室、地域文庫、貸出図書等）や学校との連携 ○読書感想画展の開催 ○子どもおはなし会や子ども映画会等本が好きになる企画取組 ○本で調べる力・図書館を活用する力をつけるための支援 ○学校図書室の整備支援 ○移動図書館車「まなびい号」の運行 ○子どもの読書への関心を高める取組 ○レファレンス向上のための図書館職員の能力向上

【成果指標】

成果指標		現状 (平成29年度)	目標値 (令和4年度)	実績値 (令和4年度)
貸出冊数 (町立図書館)	一般図書	59,258冊	77,000冊	<u>52,439冊</u>
	児童図書	52,116冊	26,000冊	<u>39,416冊</u>

第2章 第4期計画における取組の成果と課題

《図書館の取組（乳幼児期～高校期）》

【取組の成果】

令和4年度貸出冊数は91,855冊となっており、第4期計画策定時の平成29年度と比較すると21.2%減少しています。また、第3期計画策定時の平成25年度と比較すると28.9%減少しており、この要因として、パソコンやスマートフォンの普及と、これに対応して、これら媒体で小説や漫画が読めるようなサイトが増加したことで、特に若年層が図書館を利用しなくなったことがあげられます。

このような状況にあって、子どもたちが読書に魅力を感じ、本に触れ、主体的に読書を親んでもらえるよう、取り組んできました。

【課題】

出生時から高校期までの成長期にあって、本は、人生をより深く生きる力を身に付けていくために欠くことのできないものです。電子書籍が普及されていくにつれ、本の読み聞かせが親子のコミュニケーションツールになったり、子どもが自ら本に触って、めくってみるなどの自我の芽生えを実感でき、日々成長していく過程で身近に活用できる本は頼もしい存在です。このような趣旨の普及と成長期に対応した、子どもが主体的に本に親しむことができる図書整備と環境づくりが必要です。



第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

1 基本方針

1 子どもの発達段階に応じた取組の推進

子どもが本に魅力を感じながら自主的に読書活動に取り組み、習慣として形成・定着するためには、周囲のさまざまな支援が必要です。

また、そうした働きかけは、子どもの読書活動の現状や発達段階に応じた適切なものでなければなりません。

そのためには、子どもの豊かな読書活動を支える人的環境づくり（育成や活用）や物的環境づくり（施設・設備、図書資料等の諸条件の整備・充実）が欠かせません。

2 家庭、地域、学校、行政等が連携協力した取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校、行政等を含めた社会全体が、それぞれが担うべき役割を自覚し、連携協力しながら役割を果たしていくことが重要です。

3 子どもの読書への関心を高める取組の推進

子どもにとって、心を揺り動かされた本との出会いは貴重な体験です。しかしながら、成長に伴い他の活動への関心が高まり、関心度合いが低くなっていく傾向が見られることから、読書への関心を高める取組を継続的に行うことが必要です。

【取組に向けたキャッチフレーズ】

みんなで育もう



読書で支える子どもの成長

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

2 子どもの読書活動推進体制のイメージ

子どもの読書活動の効果的な推進に向けて、家庭、教育保育施設、学校、高校、地域、行政及び関係機関がそれぞれの期待される役割を理解しながら取り組んでいきます。



第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

3 各主体の役割と期待される取組

《乳幼児期》

家 庭	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆読書を「させる」のではなく、保護者も「ともに取り組む」
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭内に子どもが本を身近に感じる環境を作るとともに、子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせを行ったりする「家読(うちどく)」が望まれます。 ◆図書館に向いて、読書の楽しさや喜びを体験する機会を設けることにより、読書への関心を高め、読書習慣を身に付けていくことが望まれます。

教育保育施設	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆保護者へ読書活動の重要性の普及及び支援
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆絵本コーナー等を設置するなど、子どもが本を身近に感じる環境整備が期待されます。 ◆「読み聞かせ」などの絵本との向き合いを取り入れた保育を継続していくことが期待されます。 ◆保護者に対し、家庭での読書活動の支援につながる情報発信が期待されます。

地 域	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの読書活動につながるイベントの開催が期待されます。 ◆地区生涯教育センター、公民館などに地域文庫を開設するなど、子どもが絵本に触れる場所を整えていくことが期待されます。 ◆読み聞かせボランティア活動へ参加するなど個々における活動が期待されます。

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

《乳幼児期》

行 政	
役割	◆子どもが読書に親しむ機会の創出
取組	◆乳幼児と保護者に絵本を手渡し家族のコミュニケーションを促すとともに、保護者等に読書の大切さを伝える「ブックスタート」を継続実施していく。 《住民課》
	◆乳幼児健診会場での絵本の紹介等の機会を設ける。 《子育て支援課》

町立図書館	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの発達段階に応じた図書の選定 ◆読書の楽しみを知ることができる場の提供 ◆関係機関との連携による読書環境の整備 ◆レファレンスサービスの充実
取組	◆乳幼児と保護者に絵本を手渡し家族のコミュニケーションを促すとともに、保護者等に読書の大切さを伝える「ブックスタート」を住民課と連携し、実施していく。 【継続】
	◆乳幼児健診会場での絵本の紹介等を子育て支援課と連携しながら行う。 【再】
	◆子どもおはなし会を開催し、読書の楽しみを普及するとともに、保護者の読み聞かせのきっかけを働きかける。 【継続】
	◆教育保育施設の図書館見学の受け入れを積極的に行う。 【継続】
	◆移動図書館車による教育保育施設への本の貸出を実施していく。 【継続】

【成果指標】

○乳幼児の読書量

成果指標	現状 (令和5年度)	目標値 (令和9年度)
乳児の1カ月の読書量のうち 「1日1冊、週2～3冊」の割合	66.3%	70.0%
幼児の1カ月の読書量のうち 「1日1冊、週2～3冊」の割合	55.1%	60.0%

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

3 各主体の役割と期待される取組

《小学校期》

家 庭	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆読書を「させる」のではなく、保護者も「ともに取り組む」
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭内に子どもが本を身近に感じる環境を作るとともに、子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせを行ったりする「家読(うちどく)」が望まれます。 ◆図書館に向かい、読書の楽しさや喜びを体験する機会を設けることにより、読書への関心を高め、読書習慣を身に付けていくことが望まれます。 ◆家族で読書を通じて感じたことや考えたことを話し合ったり、お互いが読んでいる本を紹介し合ったりするなど、読書に対する興味や関心を引き出すように働きかけることが望まれます。

学 校	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆保護者へ読書活動の重要性の普及及び支援
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校図書館の機能を計画的に利活用した児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実が期待されます。 ◆図書の紹介、様々な図書に触れる機会を確保していくことが望まれます。 ◆関係機関や読書ボランティアとの連携による読書活動の充実が期待されます。

地 域	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの読書活動につながるイベントの開催が期待されます。 ◆地区生涯教育センター、公民館などに地域文庫を開設するなど、子どもが絵本に触れる場所を整えていくことが期待されます。 ◆読み聞かせボランティア活動へ参加するなど個々における活動が期待されます。

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

《小学校期》

行 政	
役割	◆学校図書室の充実
取組	◆図書充足率 100%を目指して、図書整備を図る。【継続】《教育委員会事務局》
	◆学校へのIT蔵書管理システム導入の検討 《教育委員会事務局》
	◆学校図書館司書配置の検討 《教育委員会事務局》

町立図書館	
役割	◆子どもの発達段階に応じた図書の選定
	◆読書の楽しみを知ることができる場の提供
	◆関係機関との連携による読書環境の整備
	◆レファレンスサービスの充実
取組	◆子どもが読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることのできる場を提供する。 【継続】
	◆学校の図書館見学の受け入れを積極的に行う。 【継続】
	◆移動図書館車による学校への本の貸出を実施していく。 【継続】
	◆学校図書室の整備支援を実施していく。 【継続】

【成果指標】

○小学校期の読書量

成果指標	現状 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
1カ月の平均読書冊数 (小学5年生)	20.1冊	21冊

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

3 各主体の役割と期待される取組

《中学校期》

家 庭	
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆読書を「させる」のではなく、保護者も「ともに取り組む」
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭内に子どもが本を身近に感じる環境を作ることが望まれます。 ◆図書館の利用を促し、読書の楽しさや喜びを体験する機会を設けることにより、読書への関心を高め、読書習慣を身に付けていくことが望まれます。 ◆家族で読書を通じて感じたことや考えたことを話し合ったり、お互いが読んでいる本を紹介し合ったりするなど、読書に対する興味や関心を引き出すように働きかけることが望まれます。

学 校	
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す ◆保護者へ読書活動の重要性の普及及び支援
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校図書館の機能を計画的に利活用した児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実が期待されます。 ◆図書を紹介、様々な図書に触れる機会を確保していくことが望まれます。 ◆関係機関や読書ボランティアとの連携による読書活動の充実が期待されます。

地 域	
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが読書に親しむきっかけづくり ◆子どもの読書に対する興味や関心を引き出す
期待される取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの読書活動につながるイベントの開催が期待されます。 ◆地区生涯教育センター、公民館などに地域文庫を開設するなど、子どもが絵本に触れる場所を整えていくことが期待されます。 ◆読み聞かせボランティア活動へ参加するなど個々における活動が期待されます。

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

《中学校期》

行 政	
役割	◆学校図書室の充実
取組	◆図書充足率 100%を目指して、図書整備を図る。【継続】《教育委員会事務局》
	◆学校へのIT蔵書管理システム導入の検討 《教育委員会事務局》
	◆学校図書館司書配置の検討 《教育委員会事務局》

町立図書館	
役割	◆子どもの発達段階に応じた図書の選定
	◆読書の楽しみを知ることができる場の提供
	◆関係機関との連携による読書環境の整備
	◆レファレンスサービスの充実
取組	◆子どもが読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることのできる場を提供する。 【継続】
	◆学校の図書館見学の受け入れを積極的に行う。 【継続】
	◆学校図書室の整備支援を実施していく。 【継続】

【成果指標】

○中学校期の読書量

成果指標	現状 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
1カ月の平均読書冊数 (中学2年生)	5.0冊	5.2冊

第3章 子どもの読書活動の推進に向けた取組

3 各主体の役割と期待される取組

《図書館の取組》

町立図書館	
役割	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの発達段階に応じた図書の選定 ◆読書の楽しみを知ることができる場の提供 ◆関係機関との連携による読書環境の整備 ◆レファレンスサービスの充実
取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの発達段階に応じた図書の選定に取り組みます。 ◆子ども向けの読書に関する情報提供を積極的に行います。 ◆乳幼児とその親が気軽に図書館を利用できるようベビールームを常時開放し、親子のふれあいの場を提供できるよう環境づくりに取り組みます。 ◆乳幼児健診会場での絵本の紹介等を子育て支援課と連携しながら行います。【再】 ◆子どもおはなし会など、魅力あるサービスの提供に努めます。 ◆図書館見学の受け入れを積極的に行います。 ◆移動図書館車による本の貸出サービスについて、見直し等を行いながら継続実施します。 ◆学校図書室の整備支援を継続実施していきます。

【成果指標】

成果指標		現状 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
貸出冊数 (町立図書館)	一般図書	52,439冊	53,000冊
	児童図書	39,416冊	41,000冊

付属資料

■第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画策定経過・・・・・・・・・・24

■金ヶ崎町子ども読書活動推進委員会設置要綱・・・・・・・・・・25

■金ヶ崎町子ども読書活動推進委員会委員名簿・・・・・・・・・・26

■事務局名簿・・・・・・・・・・27

■諮問書・答申書・・・・・・・・・・28

第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画策定経過

年月日	事項	内容
令和5年9月29日～ 令和5年10月11日	読書に関するアンケート調査の実施	対象者：町内教育保育施設に通園している乳幼児の保護者 537人 回答率：81.6%
令和5年12月15日	第1回子ども読書活動推進委員会	第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画（素案）にかかる審議【諮問】
令和6年1月19日	修正案に対する意見聴取	修正案にかかる意見を集約（推進委員）
令和6年2月9日	修正案に対する意見聴取	修正案にかかる意見を集約（住民課、子育て支援課）
令和6年2月15日	第2回子ども読書活動推進委員会	第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画（案）にかかる審議【答申】
令和6年2月22日	金ヶ崎町教育委員会定例会	第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画【承認】
令和6年2月28日	金ヶ崎町立図書館協議会	第5期金ヶ崎町子ども読書活動推進計画【報告】

金ヶ崎町子ども読書活動推進委員会設置要綱

- 1 趣 旨 「金ヶ崎町子ども読書活動推進計画」の推進を図るため推進委員会を設置する。
- 2 任 務 (1)「金ヶ崎町子ども読書活動推進計画」の進捗状況の確認並びに実施計画の修正、補強等について審議し教育長に報告する。
(2)「金ヶ崎町子ども読書活動推進計画」及び実施計画の推進のために必要な審議、助言等を行う。
- 3 任 期 2年間とする。
- 4 体 制 (1)推進委員会の委員は10名以内とし次の区分により教育長が委嘱する。

①幼稚園長会代表	1名
②保育園長	1名
③校長会代表	1名
④PTA連絡協議会代表	1名
⑤利用者代表	2名
⑥地区生涯教育センター所長代表	1名
⑦金ヶ崎町立図書館協議会代表	1名

(2)推進委員会に会長、副会長、事務局長を置く。
会長・副会長は委員の互選により定める。
- 5 事務局 事務局は金ヶ崎町立図書館に置く。

(平成24年10月25日)

金ヶ崎町子ども読書活動推進委員会委員名簿

任期：令和5年6月1日～令和7年3月31日

氏 名	職 名	推 薦 枠
さとう たまき 佐藤 環	認定こども園南方幼稚園園長	幼稚園長会代表
さとう いずみ 佐藤 泉	たんぼぼ保育園園長	保育園長代表
ささき みほ 佐々木 美穂	第一小学校校長	校長会が推薦する者
さとう あけみ 佐藤 明美	三ヶ尻小学校 PTA 会長	町 PTA 連絡協議会
きくち なおみ 菊池 直美	金ヶ崎町立幼稚園・認定こども園 PTA 連絡協議会会長	利用者代表
きくち みはる 菊池 美春	読み聞かせグループ セフィロス会員	利用者代表
おざわ しんいち 小澤 伸一	南方地区生涯教育センター所長	地区生涯教育センター 所長代表
みやた ゆみこ 宮田 有味子	読み聞かせグループ ぶっくわあむ会員	金ヶ崎町立図書館 協議会代表

事務局名簿

氏 名	職 名
ちば かずひと 千葉 和仁	金ヶ崎町教育委員会教育長
すずき としろう 鈴木 敏郎	中央生涯教育センター所長
たかはし じゅんこ 高橋 淳子	金ヶ崎町立図書館長
ほうじょう みか 北 條 美加	金ヶ崎町立図書館 副主幹
おりかさ かなこ 折笠 可奈子	教育委員会 学校教育係長
おいかわ めぐみ 及川 恵美	金ヶ崎町立図書館 図書館活動指導員

金 函 第 1 8 号

令和5年12月15日

金ケ崎町子ども読書活動推進委員会

会長 佐 藤 環 様

金ケ崎町教育委員会

教育長 千 葉 和 仁

第5期金ケ崎町子ども読書活動推進計画について（諮問）

金ケ崎町の子ども読書活動の推進を図り健やかな成長に資するため、第5期金ケ崎町子ども読書活動推進計画について、金ケ崎町子ども読書活動推進委員会設置要綱第2条に基づき、貴委員会の意見を求めます。

令和6年2月15日

金ケ崎町教育委員会

教育長 千 葉 和 仁 様

金ケ崎町子ども読書活動推進委員会

会長 佐 藤 環

第5期金ケ崎町子ども読書活動推進計画（案）について（答申）

令和5年12月15日付け金函第18号をもって諮問のありました第5期金ケ崎町子ども読書活動推進計画（案）について、慎重に審議した結果、別冊のとおり答申いたします。